

オンラインによる語学研修・文化体験プログラム

参加報告書

氏名	Aさん
所属・学年	文学部・大学院コミュニケーション情報学科・専攻 2年
プログラム実施 大学名	韓国語講座 短期課程 (国名： 韓国)
プログラム期間	2021年 8月 9日 - 2021年 8月 20日
プログラム参加 の目的	韓国語の会話、リスニングの上達のため
プログラムの概 要(授業・フィー ルドワーク内 容、スケジュール 等)	平日 10:00-13:00 まで韓国語のみを用いた授業。週に一回文化活動があり、ビビンバを作ったり釜山ツアーをしたりする時間が設けられていた。また、釜山大学の生徒と 1:1 または 1:2 でマッチングし、週 2 回 ZOOM を用いた会話練習や質問をする時間が設けられていた。授業の課題はほとんどなく、先生が作った資料を基に進められる。

プログラム参加によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

- ・先生が生徒に質問する際には、オンラインだからこその言いたしづらさがあったが、それを乗り越えて発表したことで自分の成長に繋がったと感じた。
- ・どれだけわからない表現でも、自分の分かる単語で伝えれば必ず伝わるし、その悔しさが次はしっかり伝えようという意識が変わるため、より勉強への意欲がわいた。
- ・コロナで制限されている状況で、諦めるのではなくて自分に今できることは何なのかを考えて行動に移すことが大切だと思った。
- ・実際に韓国に留学したいという気持ちが大きくなった。

プログラム参加全体を通しての感想

文法の授業というよりは会話を通してネイティブな表現を身に付けるという形だったので、楽しかったし、より日常で使えると感じた。また、初めて韓国語だけを用いた授業に参加したが、毎日接していると耳が慣れてよく聞き取れるようになったり、初めよりも自分の言いたいことが韓国語で言えるようになったりと自分の成長を感じる事が出来た。コロナで現地に留学は行けなかったが、それと同じくらい良い経験が出来たと思う。